

ビルメンに かける思い

2016

— 表紙撮影の現場から —

(株)第一ビルメンテナンス

阿部 敏さん

品質管理部

■Profile

あべ・さとし (左)

山形県出身。2006年入社。趣味はフットサルとゴルフ。

鹿島 勇太さん

江東営業所

■Profile

かしま・ゆうた (右)

東京都出身。2010年入社。趣味はフットサルとボルダリング。



阿部 敏さん— 新入社員と一緒に、仕事を深めていきたい 「どう仕事に向き合うか」の教育も大切 — 鹿島 勇太さん

—入社理由を教えてください。

阿部 「第一ビルメンテナンスに入りたい」と思ったのは、会社説明会での雰囲気からでした。説明したり、案内をしてくれた社員をはじめ、社内みんながよくしてくれました。

入社したら高所のガラス清掃をしたいと思っていましたが、当時は床がメインだったんです(笑)。最初は定期清掃班で、マンションなどの床面洗浄をしていました。3年目に都内の営業所に異動になり、マンションのほか、ビルや商業施設などの業務が増えて、4年目からは大理石の研磨作業も行う

ようになりました。

私が初めて臨んだ研磨作業の現場は、2,000㎡ほどの規模のところでした。最初はなかなかきれいにできなくて、教えてくれた先輩も大変だったかと思います。いまとなっては本当にいい思い出で、この経験がなければ何も始まっていなかったと思っています。

鹿島 この会社を選んだのは、仕事を通じて私自身が成長できると思ったからです。実際に、日々学ぶことがあって、成長できているのを感じます。

お客様に喜んでいただけることがうれしいですし、またそれを仲

間と分かち合えるので、ときには辛いこともありますが、楽しく仕事できています。

—御社は研修制度が充実されているそうですね。

阿部 当社には、代々木の本社から徒歩3分のところに研修センターがあります。研修センターには設備施設のほか、会議室とビルクリーニング技能士の検定会場を再現したコートがあって、検定を受ける社員はそこで練習しています。緊急センターが隣接していることもあり、研修センターは24時間体制なんです。検定の前は社外の方もよく利用されています。

社内でも年に1回、「技能オリンピック」を開催していて、各部署の代表者など毎年15、6名は出ていますね。3回優勝すると「匠」の称号がもらえます。まだ2名しか匠はいませんが、いつかは匠だけの「匠オリンピック」を開催したいと思っています。

鹿島 技能士の資格は2年前に取りました。先輩が忙しいなか自分のために時間を割いて教えてくれて、一発で合格することができました。営業所内の後輩が受検するときは、それを引き継がなければと思い、自分も教えています。

また、自主参加制の座学のみさまざまな勉強会があって、社長自ら指導にあたります。社長がこれまで学んできたことを、直接伝えてくれるんです。私も3年前から参加するようになって、仕事に対する考え方が変わってきました。

——現在の担当業務は？

阿部 埼玉支店、台東営業所を経て、3年前から品質管理部に異動になりました。現場管理が主な仕



ビルメンの仕事は当初あまり興味を持っていなかったが「洗剤や道具の種類もたくさんあり、奥が深いです。勉強することばかり」と鹿島さん

事です。日常清掃・定期清掃・外注管理、いずれも現場に足を運んで、現場の声をしっかり吸い上げることを意識しています。作業班は私と同年代の社員が多いので、私が入ることにより、以前よりも部署間の距離が縮まったと思います。

社員の成長とともに、自分自身理解を深められるのはうれしいですし、今春22名入社した新入社員にも、お客様からお褒めの評価をいただいて、やりがいを感じてほしいと思います。

鹿島 私は多摩、新宿の営業所に勤務後、3年前に江東営業所のオープニングスタッフとして配属されて、一昨年からはその所長職を任せてもらっています。

江東営業所はいま、社員10人、クルー4人の14人体制です。それまで現場作業がほとんどでしたが、所長になってからは、社員やクルーに対して、現場のフォローのほか「どう仕事に向き合うのか」といったところの教育も必要になってきました。担当エリアは高級物件が多いので、服装や髪型、道具も含めて、身だしなみをきれいに現場に向かうことをみんなで心がけています。

——おふたりは所属先は異なりますが、会う機会も多いのですか？

阿部 会社のフットサル部と一緒に練習しています。研修やレクリエーションなど、当社はとにかく社員同士で会う場が多いので、社内で知らない人のほうが少ないですね。

鹿島 阿部部長には、新入社員のところにスポット清掃の作業でリン



同社では5月からユニフォームを一新。このリニューアルも阿部さんの担当。「従業員2,600人、全員統一なのでプレッシャーが(笑)」

サーの使い方を教えてもらったことを覚えています。いまも月に一回は飲み連れていってもらっていますし、今日もこれからみんなでいきます(笑)。阿部部長をはじめ、他の先輩社員も腹を割って話をしてくれるので、仕事に限らずいろいろ相談しています。

——今後の目標を聞かせていただけますか？

阿部 お客様に喜んでいただけるサービスを続けることです。本来の目的を忘れることなく、日々進化を続けて、お客様と地域社会から「第一ビルメンテナンスがあったらよかった」と思っていただけならと思います。

鹿島 東京一、関東一、日本一、世界一と目指していきたいです。いまは東京23区の各区に営業所を出すことを、社で目指しています。全エリアに営業所を作り、より地域密着を図っていく。新しい発想で、他社がやっていないことに挑戦していきたいです。